

教授会議事録

日時：平成 18 年 1 月 10 日（火）15 時 07 分から 17 時 33 分
 場所：電気通信研究所大会議室
 出席者：議長（所長）他教授 25 名、助教授 14 名

議事に先立ち、新任の助教授から自己紹介があった。

議事録の確認

平成 17 年 12 月 13 日（火）開催の定例教授会議事録について、原案のとおり承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 部局長連絡会議

- ① 教員組織における新制度（准教授）の導入及び移行について配付資料により説明があり、同制度の導入、試行並びに移行に伴う各部局の課題等について意見を求められており、本日の協議事項で審議すること。
- ② 青葉山新キャンパスに関する手続き状況について、説明があったこと。
- ③ 部局評価について配付資料に基づき、説明があったこと。
- ④ 中期目標・中期計画のスケジュールについて、説明があったこと。

(2) 研究所長会議

- ① 百周年記念行事の一環として、片平まつりを平成 19 年度に開催すること。
- ② 金属材料研究所長から、今年度の特別教育研究経費の採択状況について、下記の報告があったこと。
 - ・ 大学側の要求順位は尊重されなかったこと。
 - ・ 全国共同利用研究所の特別教育研究経費は、別枠にしてほしいことを要望したこと。
 - ・ 複数年度に亘るものは、採択されにくく単年度の要求が通りやすかったこと。

このことに関連し、議長から、大型設備に関しては、東北大学として高等研究教育基盤技術センター設置構想委員会で、要求していくことを検討している旨の報告があり、引き続き、本日開催した高等研究教育基盤技術センター設置構想委員会に代理出席した情報コンテンツ研究分野担当教授から次の報告があった。

(3) 高等研究教育基盤技術センター設置構想委員会

- ① 平成 18 年度は、日本初の高性能電子顕微鏡 5 億円を要求し、2.5 億円の内示があったこと。
- ② 学内の研究設備で共有できるものを調査した結果を、学内 HP 上に掲載する予定であること。
- ③ 設備整備費として要求する学術基盤設備群の調査がまとまり、WG の中で順位を決定し、本委員会で平成 19 年度の要求をまとめること。また、WG に本委員会の委員 1 名を参画させることとしたこと。
- ④ 高等研究教育基盤技術センター設置構想委員会規程の修正案が提出され、改めて検討することとしたこと。

2. 運営会議等報告

(1) 評価委員会

部局外部評価の外部評価委員候補者について、まだ報告を受けていない分野があるので、分野からの提出を待って重複する委員については調整したいこと。重複している場合は、新たな候補者を推薦してもらいたい旨、関係教員に個別に依頼すること。

なお、研究所の総合評価については、次回提案したいこと。

(2) 研究企画戦略室

- ① 1 月 26 日にナノ・スピン総合研究棟 5 階大会議室で、大阪大学産業科学研究所との研究交流会を行うこと。今回は有機分子エレクトロニクス、強誘電体を使ったメモリ等のデバイス関係の講演を

主体とした交流会であるので、多数参加願いたいこと。

- ② 情報通信研究機構（NICT）との研究交流会を、テーマを「ソフトウェアのセキュリティ」とし、平成 18 年 1 月 11 日午後仙台を会場に行うこと。なお、今回は NICT 側から少人数でクローズドで討論をしたいとの要望があり、関係者のみで行うこと。

(3) 安全衛生委員会

- ① 所内の高圧ボンベについて、有効期限が切れているもの等があり、適正管理をするために各研究室に対し調査依頼を行っていたところであるが、各研究室からのデータ及び業者貸出しボンベリスト並びに用度係が把握しているデータを照合し、高圧ボンベに関する安全を図りたいこと。
- ② 衛生管理者が巡視をした結果、建物内の非常灯に不備があるので、点検して整備すること。
- ③ 研究室等には周知済みであるが、アスベスト使用経験のある職員の健康診断が実施されることになっているので、該当者には受診してほしいこと。
- ④ 所内巡視について現在 2 順目に入っているが、前回の指摘事項が殆ど改善されておらず、今後は指摘事項について改善報告を求めることにしたので、協力願いたいこと。
- ⑤ 東北大学安全・衛生管理者及び安全管理担当者連絡会が開催されたこと。通研に関係する部分は、シャワーの定期点検であり、年 1 回実施することになっており、自主点検も可能であるが大変なため、専門業者に依頼することとしたいこと。
- ⑥ 年 2 回実施することになっている作業環境測定について、平成 17 年度は日程がばらついたため、今後は環境保全センターが日程調整すること。
- ⑦ アスベストについて、施設部に依頼していた吹き付けアスベスト等の粉じん濃度測定が実施されること。
- ⑧ 通研における薬品管理について、毒劇物を使用している研究室は 12 月 26 日までに責任者を指名すること、また、各研究室での薬品保有については、1 月 20 日までに全量把握と薬品リストの調査を行うことを依頼したこと。

なお、このことに関連し、有機溶剤等の資格取得に際し、前回は受講料等を通研で負担していたが、次回も所の負担で資格を取得してもらうことになると思われること。

- ⑨ 12 月初旬に行われた東北大学監事による監事監査について、監事は阪神淡路大震災の経験者であり、組織としては安否情報の確認がもっとも難しく、このシステムを作る必要がある旨の指導を受け、副所長（研究企画）を通じて、やわらかい情報システム研究センターにネットワーク上でできるシステムの構築を依頼したこと。

また、災害時における災害対策本部を耐震構造上安全な場所に設置する必要があるため、1 号館の評価・分析センターが候補に上がっており、ネットワークサーバを移すこと等も含めて検討していること。

(4) 予算委員会

今年度予算の追加配分された経費について、早期執行について依頼があった。

(5) 移転対応プロジェクト委員会

「新キャンパス整備計画と今後の課題」について、配付資料により説明があり、特に通研の移転先は、アカデミックゾーン（旧クラブハウスの南側）であること。なお、早急に第 2 回目の委員会を開催し、具体案を聴取したいこと。また、委員会委員及び施設部関係者とで、先行例の視察を考えていること。

なお、このことに関連し、議長から、整備計画スケジュールの基本計画が平成 18 年 3 月まで、基本設計が平成 18 年 3 月から 11 月になっているので、計画に通研の意見が反映されるよう尽力願いたい旨の依頼があった。

3. 産学官フォーラムについて

産学官（東京）フォーラム実行委員会幹事から、12 月 27 日に開催した実行委員会で議論したことについて、配付資料により説明があった。

議長から、フォーラムについては、11 月頃に時期を固定して、仙台と東京で交互に実施したいこと及び、通研公開については、片平まつりと交互に実施したいことの発言があった。

4. その他

- (1) 議長から配付資料に基づき、受託研究の受け入れについて報告があった。
- (2) 議長から配付資料に基づき、奨学寄附金及び受託研究の第 3 四半期の受け入れについて、報告があった。
- (3) ドイツ国・IHP との部局間学術交流協定について
ナノヘテロプロセス研究部担当教授から、平成 18 年 1 月 22 日に締結した学術交流協定が、5 年間の有効期間が経過することから継続して締結する旨の報告があった。

II. 協議事項

1. 助教授人事について

議長から、先月承認した「研究組織の柔軟性の確保について」に基づき、助教授資格審査委員会から資格を有する旨の報告があったので、ナノ・スピ実験施設助教授選考委員会を設置したい旨の提案があり、承認した。

引き続き、議長から、選考委員会委員の提案があり、承認した。

2. 議長から、産学官連携研究員の任用について、配付資料に基づき説明があり承認した。

3. 総長候補者意向投票の投票資格者について

議長から、配付資料に基づき、教育研究評議会が推薦する総長候補者意向投票の投票資格者のうち、助手については教授会の承認が必要である旨の説明の後、提案があり承認した。なお、配付資料は回収された。

4. 教員組織の新制度について

議長から、12 月 20 日開催の部局長連絡会議において提案された「教員組織の新制度（准教授）の導入及び移行について（案）」について、配付資料に基づき説明があり、種々意見交換を行い、意見の取りまとめを副所長（総務）にお願いすることとした。

なお、各部局における課題等の意見を、1 月 16 日（月）12:00 までに提出することになっているので、さらに意見がある場合は、今週中に副所長（総務）に申し出てほしい旨依頼があった。

5. 東北大学と日立製作所の連携プログラムについて

議長から、東北大学が日立製作所と連携プログラムを締結することになり、通研は日立製作所からの寄附研究部門を設置していること、また、IT プロジェクト等の共同研究を実施していることから、個別の連携事例として、工学研究科機械系及びマテリアル系と同様に報道段階で紹介される可能性があることの報告があった。なお、調印は 1 月 19 日（木）に予定していること。

6. その他

(1) 男女共同参画委員会報告書について

男女共同参画委員会委員から、平成 17 年度男女共同参画委員会報告書作成にあたり、中期目標・中期計画達成のための各部局における取り組みとして、2 月末までに通研から報告書を提出することになっており、配付資料により報告したい旨の提案があり、審議した結果、今後の方針として女性教員比率目標に具体的な人数を記述することは非常に難しいとの意見があり、表現方法等について副所長（総務）と相談することとした。

(2) 通研公開実行委員会及び産学官フォーラム実行委員会について

議長から、本日、産学官（東京）フォーラム実行委員会から報告があった「今後のフォーラムについて（案）」に基づき、平成 18 年度は通研公開を開催する予定であるため、通研公開実行委員会委員の選出について、総務委員会に付託したい旨の依頼があった。

引き続き、議長から、「今後のフォーラムについて（案）」の委員会構成指針案について承認願いたい旨の発言があり、承認した。この委員会構成指針案に基づき、所長が、産学官フォーラム実行委員会委員並びに委員長を指名することとした。

Ⅲ. その他

1. 平成 17 年度内部監査の結果について

経理課長から、平成 17 年 10 月 21 日（金）に実施された外部研究資金の獲得・執行状況に係る監査時に、5 件の指摘があり内 1 件の労働者派遣契約について、改善計画並びに改善状況について報告を求められたものである。労働者派遣契約を行う場合は、大学側で労務管理を行うこととなるので、今後は、配付資料により実施することとしたい旨の依頼があった。

2. アスベスト対策工事について

経理課長から、本日、施設部からアスベスト対策工事について、下記のとおり報告があったこと。

- ① 平成 17 年度補正予算でアスベスト対策経費が認められたので、平成 18 年度にアスベスト除去工事を行うこと。工事期間は、1 部屋について 1～1.5 ヶ月で、希望工事期間を 1 月 25 日までに施設部に報告することになっていること。
- ② 2 号館及び評価・分析センターの電気室については、仮設の設備を設けるが、切替並びに復旧時に各々 2 日間の停電が伴うので、土曜日か日曜日に実施したいと考えているが、事務側から案を各研究室に提示するので、意見があったら申し出てほしいこと。

3. 各部門長・各種委員の交代について

議長から、先月依頼した来年度の各部門長及び各種委員会委員の交代について、準備を進めてもらいたいこと及び 1 月中旬頃までに庶務係へ報告願いたい旨、再度依頼があり、2 月の教授会に諮りたい旨の発言があった。

4. 共同プロジェクト研究について

共同プロジェクト実施委員会委員長から、平成 18 年度も今年度と同様に実施したい旨の提案があり、承認した。なお、申請書の提出期限が 2 月 15 日（水）であるので、留意願いたい旨の発言があった。

5. 教授会懇親会について

教授会懇親会幹事長から、下記の報告があった。

- ① 開催日時：平成 18 年 4 月 14 日（金）～15 日（土）
- ② 開催場所：未定
- ③ 参加対象者：教授、助教授